

水質事故訓練を実施しました

富山一級水系水質汚濁対策連絡協議会は富山県水質汚濁事故対策連絡会議と合同により12月9日(火)、高岡市の福岡防災ステーション及び西明寺川排水樋管付近において、水質事故対策訓練を実施しました。

訓練には、国土交通省、富山県、岐阜県、関係市町村の職員など約60名が参加し、福岡防災ステーションにおいて河川に油等が流出した際の連絡方法や水質事故の油処理方法(油の種類や特性・オイルフェンス・マットの使用方法など)についての講習が行われたあと、場所を西明寺川排水樋管付近に移動し、オイルマットを設置しての訓練が行われました。

水質事故は特に灯油等を取り扱う冬期間に多く発生していることから、この時期に訓練を行うことは非常に効果的です。

実際の水質事故発生時において迅速・的確な対応ができるよう備えました。

【富山一級水系水質汚濁対策連絡協議会】

富山県を流れる黒部川、常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川の各水系について、河川の水質汚濁対策や水質事故に関する各機関相互の連絡調整を図ることを目的として、昭和62年に発足し、国土交通省(北陸地方整備局、海上保安庁)、経済産業省(中部経済産業局、中部近畿産業保安監督部)、富山県、岐阜県と流域内の9市3町1村で構成されています。

協議会会長あいさつ



油処理方法の講習



オイルマットの設置訓練

